

# 市民科学プログラムによる 都市型水害に備えるアイデアの実践

1,100万円程度  
(事業期間3年間)

豪雨対策と環境改善の両立を目指した「水辺や緑の活用・管理のあり方」を、市民科学プログラムにより提案します。都民・企業・行政・大学など、流域に関わる多様な主体との協働によって、都市型水害に備えるアイデアを実践します。

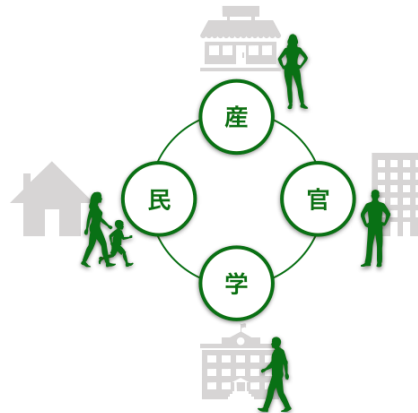
## 流域の水と緑に関する「市民科学プログラム」の実践



市民自ら事象を調査し、専門家や多様な関係者と共有することで広域的かつ効率的な問題の解決に資する科学的なアプローチ。



## 産官学民の連携による防災・環境まちづくりの推進



都市開発・まちづくりへの実装



防災・環境まちづくりの  
モデルケースの創出

都市型水害への適応

流域の防災・環境  
まちづくりガイドラインの作成



## 事業内容の詳細

### ○ 防災・環境まちづくりに向けた市民科学プログラムの実践

- ・ 豪雨対策における水と緑の管理・活用やそれによる流域環境の改善方法を具体化していくための市民科学プログラムを、モデル流域・地域において実践します。特に、「雨水の浸透・貯留の促進策」・「水辺や緑の活用・管理のあり方」を提案します。

### ○ 流域の多様な主体との連携によって、都市型水害に備えるアイデアを具体化

- ・ 流域における再開発などの都市開発事業において、豪雨時の防災性と平常時のQOLを両立した環境の整備・活用のあり方を「流域まちづくりガイドライン」としてとりまとめ、セミナーなどを通じて事業者・NPO・都民等へ展開していきます。

## 事業実施による効果

- 都市型水害の防災・減災と環境改善を両立するまちづくりを普及・啓発し、施策効果への理解向上や、都民との協働による豪雨対策の効果的な推進に寄与します。